

共催：杉並区教育委員会

2024年度 後期

杉並区内大学公開講座

共生社会

の「いま」と「これから」

ー研究と実践をつなぐー

グローバル化や情報化が進む現在、多様な文化的背景や社会属性、そして心身の特性を持つ人たちと関わる機会が増えています。そのような中で、多様な人が互いに生きやすい社会の実現に向けて、私たちはどのようなことを心がければよいのでしょうか？

本講座では、共生社会の「いま」と「これから」を、研究・実践の双方の視点から4回にかけて描き出します。

第1回では世界におけるものの見方・捉え方の多様性について学び、第2回では変容するケニアの先住民族コミュニティを事例として共生社会のあり様を議論します。第3回ではマイノリティ（少数者）への偏見が生じる心理的なメカニズムを学び、第4回では日本における共生社会の現状と未来を皆さんと共に考えます。

10/2 (水) 世界における多様なものの見方 ー共生社会を目指してー

10/9 (水) 世界の女性や子どもの教育とウェルビーイング
ーケニア・マサイコミュニティを例にー

10/16 (水) 共生を妨げる心の障壁：偏見、差別、ステレオタイプ

10/23 (水) 日本社会の現状と多文化共生の課題

時間 13:15～14:45

場所 23号館2階 23201教室

受講料 無料

申込締切 9/24(火)

定員 200名

対象 一般、卒業生、学生、教職員 ※抽選の場合は杉並区民優先



講師紹介

10/2 (水)



世界における多様なものの見方ー共生社会を目指してー
世界には多様なものの見方があることを学び、共生に向けてものごとを多様な視点から捉える頭の体操をしたいと思います。

講師：福島 慎太郎 准教授

心理・コミュニケーション学科 コミュニケーション専攻

- ・経歴：京都大学地球環境学舎地球環境学専攻（博士 地球環境学）
- ・主な著書：
 - ・ How do socio-ecological factors shape culture? Understanding the process of micro-macro interactions (共著、Current Opinion in Psychology, 2020)
 - ・ Trust within a community is a double-edged sword (共著、Psychologia, 2019)
 - ・ 人のつながりと幸福感（単著、精神科、2021）

10/9 (水)



世界の女性や子どもの教育とウェルビーイング

ーケニア・マサイコミュニティを例にー

「共生社会」はいかに作られているか。豊富な映像資料などをもとにマサイの仕事、幸福、人生の捉え方を議論します。

講師：高柳 妙子 特任准教授

心理・コミュニケーション学科 コミュニケーション専攻

- ・経歴：シドニー大学大学院教育社会福祉研究科修了（博士 教育学）
 - ・ 日本/世界銀行 共同大学院奨学金 ・ JJ/WBGSPフェロー
- ・主な著書：
 - ・ 『Informal Learning and Literacy among Maasai Women: Education, emancipation and empowerment.』（単著）2020
 - ・ Tailor and Francis, Routledge, 2020年（国際開発学会2020年度奨励賞受賞）
 - ・ 藤崎竜一、高柳妙子、池田直人(2024)「シャーマンと民間医療、伝統療法と薬草」
 - ・ 山内和也・齊藤茂雄編『アク・ベシム（スィヤブ）ーシルクロードの交易都市を掘る/探る』勉誠社

10/16 (水)



共生を妨げる心の障壁：偏見、差別、ステレオタイプ

誰もが差別や偏見を否定する現代社会においても、世界から人種、年齢、性別などに基づく偏見やステレオタイプが消えないのはなぜかについて、心理学の観点から考えます。

講師：小森 めぐみ 准教授

心理・コミュニケーション学科 コミュニケーション専攻

- ・経歴：一橋大学社会学研究科博士後期課程修了（博士 社会学）
- ・主な著書：
 - ・ 『よくわかる心理学実験実習』（共著(分担執筆)、ミネルヴァ書房、2018年）
 - ・ 『消費者の心理をさぐる：人間の認知から考えるマーケティング（日本心理学会 心理学叢書）』（共著(分担執筆)、誠信書房、2020年）
 - ・ 『幸せになるための心理学ワークブック 実践的に心理学を学ぶ』（共著(分担執筆)、ナカニシヤ出版、2021年）

10/23 (水)



日本社会の現状と多文化共生の課題

日本社会の現状と令和元年に公布された新しい法律の理念を踏まえ、労働者受け入れ施策や隣人として暮らす移住者の語りから多文化共生の課題と未来について議論します。

講師：八木 真奈美 特任教授

心理・コミュニケーション学科 コミュニケーション専攻

- ・経歴：大阪大学大学院文学研究科博士課程修了（博士 文学）
- ・主な著書：
 - ・ 『話す・考える・つながる：わたしたちのストーリー』（単著、ココ出版、2022）
 - ・ 『質的言語教育研究を考えよう：リフレクティブに他者と自己を理解するために』（共著、ひつじ書房、2021）
 - ・ 『個人の経験を社会・変革・未来へつなげる実践を目指してーナラティブをリソースとする教材作成の試みー』（共著、『言語文化教育研究』17号、2019）

<お問い合わせ>

東京女子大学 教育研究支援課 公開講座担当

E-mail: koukaikouza@gr.twcu.ac.jp

TEL: 03-5382-6470

(平日9:00~17:00【11:25~12:25除く】)

閉室日：土・日・祝日

西荻窪駅北口より徒歩12分

西荻窪駅北口(1番のりば)より吉祥寺駅北口行バスで「東京女子大前」下車 →

吉祥寺駅北口(3番のりば)より西荻窪行バスで「東京女子大前」下車

